令和２年度第１７回 地域連携推進機構運営会議
議事要旨

日　時：令和３年３月１８日（木）　１０：４０～１２：１０
場　所：第一会議室
出席者：牛窪 潔（機構長）、竹村 明洋（副機構長）、背戸 博史（地域共創企画室長）、柴田 聡史（地域共創企画室 准教授）、小島 肇（地域共創企画室 准教授）、島袋 亮道（地域共創企画室 特命准教授）、畑中 寛（地域共創企画室 特命准教授）、満尾 俊一（総合企画戦略部長）、仲里 隆司（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
陪席者：崎山 英樹（課長代理）、金城 まなみ（企画係長）、赤嶺 雅哉（地域連携推進係長）

※審議に先立ち、２月１８日開催の第１５回運営会議、第１６回運営会議（メール会議）の議事要旨案について確認があり、了承された。

＜審議事項＞
議長から、次の１０件の事項について審議を行う旨提案があり、説明の上、審議を行った。

１．第４期中期目標・中期計画（案）について
背戸室長から、資料（審議１）に基づき、地域共創企画室にて議論したことをもとにした計画案の説明があった。
委員から、主に次のような意見があった。
・地域連携プラットフォームについては、キーワードとしては重要だが、まだまだ検討段階なので、初年度から開催数等で評価をするには難しい。
・地域連携プラットフォームは、沖縄県が最初から乗り気になるとは思えないので、大学主導で引っ張っていき、プラットフォームで恒常的に議論ができるように回数を重ねていけば、県も参画してくれるのではないか。
・第四期は「琉大イノベーション・イニシアティブ」と「地域連携プラットフォーム」が需要なキーワードになる。
・マンパワーは限られているので、あまりにも背伸びをした計画を立てるのではなく、まず、現状の取組がどの中期計画に関係するのかを整理することが重要。

本件については、現時点の案を役員等懇談会へ提出することが承認され、引き続き議論していくこととなった。

２．プロジェクトシート４月確認について
崎山課長代理から資料（審議２）に基づき説明があり、審議の結果、計画２６の評価を「Ⅳ」へ修正することで了承された。

３．委託非常勤講師の委嘱及び客員准教授名称付与について（案）
牛窪機構長から資料（審議３）に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

４．委託非常勤講師の委嘱について（案）
背戸室長から資料（審議４）に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
なお、地域連携推進機構運営会議が提供部局となる当該共通科目の実施にあたっては、本学の新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた授業運営に関する手続きをしっかりと行うことが確認された。

５．令和３年度地域連携推進機構予算案について
仲里課長から、資料（審議５）に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
なお、委員から琉大イノベーション・イニシアティブの各ネットワークの活動費予算がないことについて、大学としての取り組みとしてきちんと予算を確保できないかとの意見があり、必要な予算については、今後しっかりと要求していくこととなった。

６．令和３年度地域協働プロジェクト推進事業募集要項（案）について
背戸室長から、資料（審議６）に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

７．令和３年度正課科目における地域志向取組の学内公募（案）について
背戸室長から、資料（審議７）に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

８．令和３年度「地域共創型学生プロジェクト（ちゅらプロ）」募集要項（案）について
背戸室長から、資料（審議８）に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

９．地域連携推進機構が実施する公開講座の企画について
背戸室長から、資料（審議９）に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

１０．第６回未来共創フォーラムについて
竹村副機構長から、資料（審議１０）に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

＜報告事項＞

１．令和２年度知のふるさと納税の実施について
柴田准教授から、資料（報告１）に基づき、報告があった。

２．研究紀要について
背戸室長から、研究紀要の第３号、第４号の合併号について、第４号までは「生涯学習推進部門」名で発行することの報告があった。

３．その他
①機構運営会議委員、地域連携推進課事務の異動について
仲里課長と崎山課長代理から、４月１日付の人事異動の挨拶があった。